



水と人が奏でるハーモニーのまち

# 宝達志水町

# 議会だより

平成29年5月1日 発行

■発行

石川県宝達志水町議会

〒929-1492

石川県羽咋郡宝達志水町子浦そ18-1

TEL (0767) 29-8310 (直通)

FAX(0767) 29-4623

■編集

宝達志水町議会

広報編集特別委員会

## 第48号



町の地域医療の核となる「町立宝達志水病院」

主な記事  
.....→

■平成29年第1回定例会 ..... 2

■一般質問(2名) ..... 7

■委員会ノート ..... 8

■視察報告 ..... 9

■町議会日誌 ..... 10

# 平成29年度予算可決、成立

## 総額144億9,434万2千円

### 平成29年 **定例会** 第1回



第1回町議会定例会が2月20日から3月3日までの会期で開催されました。

今回は、平成29年度予算を中心に平成28年度の補正予算や条例の制定、改正、財産の処分等、あわせて、21件の議案が提出され、慎重に審議した結果、すべての議案が原案どおり可決されました。

また、監査委員の選任、選挙管理委員や補充員の選挙も行われ、新しい委員が決まりました。

会計名		予算額	前年度比	採決の状況
一般会計		66億1,400万円	▲11.9%	賛成6、反対3で可決
特別会計	国民健康保険	19億472万3千円	▲1.0%	賛成7、反対2で可決
	後期高齢者医療	1億7,831万4千円	▲1.3%	〃
	介護保険	18億22万6千円	1.1%	〃
	ケーブルテレビ事業	7,217万8千円	▲6.6%	全員賛成で可決
企業会計	水道事業	4億8,589万2千円	▲25.1%	賛成6、反対3で可決
	下水道事業	14億2,043万2千円	▲1.8%	〃
	病院事業(志雄病院)	1億3,422万1千円	▲96.4%	全員賛成で可決
	病院事業(宝達志水病院)	18億8,435万6千円	皆増	〃

**29年度**  
**予算額と採決の状況**



## 平成29年度の町政運営方針

本町の財政は、これまでの財政健全化の取り組みにより着実に改善されてきています。しかし、歳入の中心となる地方交付税の削減が確実である一方、少子高齢化の進展による社会保障関係経費の増加や人口減少に歯止めをかけるための諸施策、公共施設やインフラ資産等の老朽化対策など、財政需要は増加の一途をたどり、今後ますます厳しい状況が続きます。平成29年度の予算は、このような現状を踏まえ、財政健全化計画の基本理念を堅持しながら、第3次町行財政改革大綱及び、まち・ひと・しごと創生総合戦略事業の着実な実施に取り組んでいくこととなります。

## まち・ひと・しごと創生総合戦略事業

平成29年度の主な総合戦略事業は次のとおりです。

### 1. 総合的なまちづくりの推進

○空き家・空き地バンク事業費 81万4千円

町内の空き家等の情報を整理し、空き家の有効活用を図り、定住化を促進する。

○宝のまちブランド推進事業費 420万円

町民自身の町への知識と満足度の向上を図り、町のブランド化につなげていく。

○四季の宝達PR事業費 96万8千円

恵まれた自然環境を活かし、四季ごとの魅力・資源をイベントの開催等によりPRすることで、町のブランド力を高め、本町への交流人口の増加を図る。

○民間賃貸住宅建設補助事業費 500万円

民間賃貸住宅の建築工事費の10%（上限500万円）を補助する。

### 2. 生活環境の整備

○宝の住まいる応援事業費 1,514万円

町内に新たに住居を構える者に対し、新築住宅等奨励金や賃貸住宅家賃補助等、住環境構築のための助成を実施する。

○若者通勤サポート事業費 201万9千円

町外に通勤している30歳未満の若年世代の町民に年間2万円通勤費の助成を行うことで、就職等に合わせて転出する若者の抑制を目指し、町内への定住を促す。

### 3. 保健・医療・福祉の充実

○宝たち成長お祝い事業費 3,523万2千円

町の宝である子どもたちの成長を祝うとともに、子育てにかかる経済的負担の軽減を行うことにより若年層の定住化と人口の増加を図る。

○宝の縁むすび事業費 85万4千円

若者の出会いの場が少なくなっている現状に対して、効率よい男女のマッチングを行い、結婚の希望を叶えることを目的とする。

### 4. 教育・文化・スポーツの充実

○宝たち検定チャレンジ事業費 70万円

英語、漢字等の検定にチャレンジすることで、合格する喜びや不合格の悔しさから、さらなる上位の級への挑戦意欲や学習意欲を醸成する。

○宝たちビジネスアカデミー事業費 25万1千円

町の将来を担う「人財」として育成を図る。



(宝たちビジネスアカデミー)

### 5. 産業の振興

○起業・創業バックアップ事業費 21万6千円

町内で起業・創業を目指す人について、相談・応援ができる体制を整備する。

○農産物等ブランド化推進事業費 50万円

独自ブランド品のPR・開発等を目指す。

# 平成29年度の主な事業・施策

## 1. 総合的なまちづくりの推進

- ふるさと振興事業費 100万1千円  
町が実施する事業に参加した人にポイントを付与し、ほっぴーさんカードの普及促進を図る。

## 2. 生活環境の整備

- 街灯設置管理費 943万6千円
- 災害対策事務費 1,435万8千円  
自主防災組織の普及や活性化に向けた取り組みを進め、地域住民の防災意識を高め、地域防災力の向上を図る。

- 新交通政策推進事業費 6,672万2千円  
デマンドタクシーの運行により、公共交通空白地帯における地域住民の生活の足を確保する。また、児童・生徒の通学時の安全を確保するためスクールバスを運行するとともにスクールバスの空き時間を有効活用したコミュニティバスを運行することで、地域の活性化及び住民福祉の向上を図る。

## 3. 保健・医療・福祉の充実

- 臨時福祉給付金給付事業費 4,099万7千円  
消費税率の引き上げに対する低所得者の負担を軽減するための臨時的な給付金で、対象者1人につき15,000円を支給する。

- がん検診推進事業費 1,229万8千円

- 子育て支援事業費 4,128万2千円  
子どもの通院や入院にかかる医療費の自己負担無料化により、子育て家庭の経済的な支援を行うとともに児童の健康の増進及び福祉の向上を図る。

- ひとり親家庭の児童への学習支援事業費 864千円

- 母子保健対策事業費 1,117万2千円  
出生児の全数訪問、乳幼児健診、相談事業を行うことにより、乳幼児期の発育・発達支援や育児不安の解消、母子の健康の保持増進、疾病の早期発見・早期治療などの育児支援を図る。

- 予防接種事業費 1,836万円

## 4. 教育・文化・スポーツの充実

- 外国語指導助手配置事業費 735万7千円  
外国語指導助手（ALT）の生きた英語による町内小・中学校での英語授業の補助、特別活動や課外活動への参加を通じて、児童生徒へ国際化への興味、理解を図る。

- 国際交流事業費 543万8千円  
地域住民と外国籍住民等との相互理解を深めるとともに次世代を担う青少年の国際的視野を広げ、国際化社会に対応できる人材の育成を図る。

## 5. 産業の振興

- 宝達山整備事業費 133万8千円  
県内外から多くの観光客が訪れている宝達山。今後、さらに多くの方に登頂してもらうために、宝達山頂公園の整備を進める。



(整備が進む宝達山頂公園)

- 震災対策農業水利施設整備事業費 2,130万円

## 6. 都市基盤の整備

- 道路整備事業費 1億4,500万円

- 上水道老朽管更新事業費 4,500万円

- 公共下水道事業建設改良費 1億270万円

## 7. 行財政改革の積極的な推進

- コンビニ交付事業費 4,674万円  
窓口開設時間を問わず、マイナンバーカードを利用して夜間や休日に全国のコンビニエンスストアで住民票や戸籍証明書などの取得が可能となることで住民サービスの向上を図る。

- 窓口業務民間委託事業費 712万8千円  
民間独自のアイデアやノウハウを活かした住民サービスや繁忙期の増員配置など柔軟な対応による窓口サービスの向上を図る。

### 平成28年度補正予算関係

今回の補正は、主に各事務事業の確定と実績見込みによる予算の最終調整です。

会計名		補正後の予算額	補正額	採決の状況
一般会計		84億4,508万9千円	1億625万9千円	全員賛成で可決
特別会計	国民健康保険	19億4,036万1千円	▲1,620万4千円	〃
	後期高齢者医療	1億7,870万7千円	▲201万円	〃
	介護保険	16億7,419万6千円	▲1億2,524万7千円	〃
	国民健康保険直営診療所	6,647万5千円	1,893万7千円	〃
企業会計	水道事業	6億5,155万8千円	▲4,967万1千円	〃
	下水道事業	14億360万3千円	▲4,241万2千円	〃
	国民健康保険志雄病院事業	38億1,228万8千円	▲3,561万6千円	〃

#### 補正の主な内容

##### ○一般会計

- 人事給与システム導入業務委託料 ▲400万円
- 基金積立金 2億1,253万6千円
- デマンドタクシー補助金 340万円
- 宝の住まいる応援事業費 370万円
- 若者通勤サポート事業補助金 ▲300万円
- 児童手当給付事業費 ▲200万8千円
- 予防接種事業費 ▲250万円
- ごみ収集事業費 ▲517万円
- 新規就農総合支援事業費 ▲450万円
- 経営体育成支援事業費 ▲657万1千円
- 国際交流事業費 ▲104万9千円

##### ○国民健康保険特別会計

- 介護納付金 ▲1,608万2千円
- 直営診療施設勘定繰出金 3,827万5千円

##### ○後期高齢者医療特別会計

- 後期高齢者医療広域連合納付金 ▲201万円

##### ○介護保険特別会計

- 介護サービス等給付費 ▲1億1,772万4千円
- 介護予防サービス等給付費 ▲202万4千円
- 特定入所者介護サービス等諸費 ▲560万円

##### ○国民健康保険直営診療所特別会計

- 一般会計繰出金 1,893万7千円

##### ◎条例関係

- 職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
- 目的・概要

地方公務員の育児休業等に関する法律の改正等に伴い、所要の改正を行う。

- 1 育児休業及び介護休業の対象となる子の拡大

- 2 介護休暇を請求できる期間の分割

- 3 介護時間の新設

- 志雄農村環境改善センター条例の一部を改正する条例
- 目的・概要

施設の名称変更及び施設使用料の改定を行う。

〔賛成6人、反対3人〕

- 税条例等の一部を改正する条例
- 目的・概要

地方税法等の改正に伴い、所要の改正を行う。

##### 1 町民税関係

住宅ローン減税期間の延長及び地方法人課税の偏在化是正

##### 2 軽自動車税関係

消費税率10%の引き上げ時に自動車取得税を廃止し、軽自動車税に「環境性能割」を創設

〔全員賛成〕

- 国民健康保険直営診療所設置条例を廃止する条例
- 目的・概要

押水クリニックを廃止し新病院に整理統合する。

〔賛成7人、反対2人〕



(3月末で廃止した押水クリニック)



○若者等定住バックアップ条

例の一部を改正する条例

目的・概要

宝の縁むすび事業や婚活支援事業に参加した者で婚姻日から1年以内に町内に住所を有する者に宝達志水町ポイントカードの加盟店で利用できる金券10万円を支給する成婚祝金に関する規定を追加する。

〔全員賛成〕

○農業委員会の委員等の定数

条例

目的・概要

農業委員会制度の改正に伴い農業委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める。

- 1 農業委員の定数12人
  - 2 推進委員の定数12人
- 〔賛成8人、反対1人〕

○特別職の職員で非常勤のもの  
の報酬及び費用弁償に関する  
条例の一部を改正する

条例

目的・概要

農業委員会の会長及び委員の報酬の額を見直すとともに、新たに設けられる農地利用最適化推進委員の報酬の額を定める。

〔全員賛成〕

○押水農村環境改善センター

・産業センター条例の一部  
を改正する条例

目的・概要

施設名を改称するほか、会議室の使用料金を規定する。

〔全員賛成〕

○いじめ問題対策連絡協議会

等条例

目的・概要

町・学校・町民・家庭、その他の関係者が連携し、いじめ問題の克服に向けて取り組むための基本的な方針を定める。

〔全員賛成〕

○体育施設条例の一部を改正

する条例

目的・概要

押水地区、志雄地区にある運動公園を廃止し、各体育施設に「宝達志水」の名称を加え、新たな名称に改める。

〔賛成7人、反対2人〕



(宝達志水総合体育館と多目的グラウンド)

○国民健康保険志雄病院事業

における剰余金の処分等に  
関する条例の一部を改正す  
る条例

目的・概要

○国民健康保険志雄病院看護師等修学資金貸与条例の一部を改正する条例に

○特別職の職員で非常勤のもの  
の報酬及び費用弁償に関する  
条例の一部を改正する

院の設置に際し、国民健康保険志雄病院事業に関する条例の題名等を改める。

〔全員賛成〕

◎財産の処分関係

1 処分する財産

旧加能繊維工場跡地（土地及び建物）

2 売却価格

5,240万円

3 売却先

中橋商事株式会社

代表取締役 中橋 忠博

〔全員賛成〕

◎人事関係

○監査委員の選任

山上 達郎氏（河原）

○選挙管理委員会委員の選挙

山本 貴司氏（北川尻）

小笠原邦和氏（菅原）

清水 和義氏（御館）

岡山 正美氏（子浦）

○選挙管理委員会補充員の選挙

第1順位

越野 義弘氏（河原）

第2順位

中村 清康氏（敷波）

第3順位

田村 淳一氏（今浜）

第4順位

久保 幸庸氏（所司原）

◎新議員紹介

平成29年3月19日の町議会議員補欠選挙において、2名の議員が当選されました。



林 稔 議員 (上田出)



塚本勇仁 議員 (所司原)

(任期は平成30年12月31日まで)

町政を問う

# 一般質問

(町政全般にわたる質問)

## 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」について

町長

「成果があらわれてきており、着実に取り組みが実を結んできている。」



柴田 捷 議員

**問** 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」について

①戦略の効果の検証と評価をどのように行っているのか。行われているとすれば、どのようになっているのか。広く町民に公表すべきではないか。事業内容の拡大や継続、見直しも必要ではないか。適時適切な対応も必要ではないか。

②今年度の取組結果をどのように評価しているのか町長の考えは。

③各事業について、成果及び課題と今後の取組を問う。

**答** 町長

戦略の施策を効果的に推進するために、住民代表並びに産業界・行政機関・学校機関・金融機関及び労働団体の有識者をもって構成する「総合戦略推進会議」を開催し、見直しに向けた提言を受けるとともに、その内容

は、広報やホームページ等で町民に公表している。総合戦略の今年度の取組みの結果については、16施策の事業を進めている。既に、民間賃貸住宅が一棟建設されるなど、成果があらわれているものもあり、着実に取組みが実を結んできている。

この他、16施策の事業について各担当課長から進捗状況や課題等について説明がありました。

**問** 農業政策について

米の生産数量調整（減反政策）が平成30年以降廃止になり、米の生産数量目標の配分が県主導になるらしいが、当町ではどのように対応していくのか。

**答** 町長

石川県農業活性化協議会と連携しながら、今後の対応を検討していきたい。

## 若い町民の平和への不安と要望に議会と行政、大人はどう応えるか

町長

「行政が取り組むべき最も基本的で重要な事項は、町民生活の安全・安心が確保できる社会の構築である」



小島昌治 議員

**問** 核兵器廃絶のための「核兵器禁止国際署名」を広めるために

昨年12月、「核兵器禁止条約」の締結交渉を開始する決議が国連総会の場で採択され、国連本部で核兵器禁止条約の締結交渉が開始される。国連加盟国の多数が参加して、この条約が締結されれば、核兵器を持つことが国際的に法律違反だという状況がそこまで来ている。これが実現するならば、町内の若者たちだけでなく、多くの国民の不安を解決することにつながる。そのことを支持する「核兵器禁止国際署名」を広げようという方針を採択した平和首長会議に加入している町長は、この核兵器廃絶のための署名を全町あげた取り組みにすべきと考えるがいかがか。

**答** 町長

全町あげての核兵器禁止国際署名運動は考えていないが、今後、庁舎内

で原爆写真展などを行い核兵器の根絶を訴えていく。

**問** 滋賀県野洲市の「債権管理条例」を本町にも

滋賀県野洲市は、「市民の生活を壊さずに税金を納めてもらう」との考えのもと、債権管理条例を制定し、税金を滞納した市民に寄り添い、市民が生活再建をできることを柱にして納税の丁寧な指導をしている。本町も野洲市の取り組みを調査研究していく必要があると思うがいかがか。

**答** 町長

税等の回収には生活状況を無視したり、壊したりすることがないよう配慮しながら実施している。なお、現在、プロジェクトチームにより、本町にあった債権回収の体制づくりを調査・検討している。

# 委員会レポート

## 第1回定例会会期中の審査内容

### 総務産業建設常任委員会

(3月1日)

**問** 空き家・空き土地バンク事業の周知をどのように進めるのか。

**答** 町広報等で行っているが、今後は区長や町のホームページを通じて周知を図っていききたい。

**問** 多面的機能支払交付金事業の補助金算出根拠は、面積当たりか。

**答** 地区ごとに協定を結び、面積当たりの補助金を交付している。

**問** ふるさと農道整備事業の今後の対応について。

**答** 事業の進め方を精査し、関係区とも協議しながら、費用対効果を含め、29年度中に方針を決定していきたい。

**問** 水道管の老朽管更新計画はどのようなになっているか。

**答** 29年度は、荻島集落内の下水道工事に合わせて水道管の更新を行う。石綿セメント管の更新を優先して行うこととし、年次計画を立てて実施していきたい。

**問** 29年度は、荻島集落内の下水道工事に合わせて水道管の更新を行う。石綿セメント管の更新を優先して行うこととし、年次計画を立てて実施していきたい。

**問** 29年度は、荻島集落内の下水道工事に合わせて水道管の更新を行う。石綿セメント管の更新を優先して行うこととし、年次計画を立てて実施していきたい。

### 教育厚生常任委員会

(2月27日)

**問** 宝たち成長お祝い事業(出産祝金)として支給するほっぴーさんカード会金券の使用店舗の拡充方法について。

**答** 宝たち成長お祝い事業(出産祝金)として支給するほっぴーさんカード会金券の使用店舗の拡充方法について。

**問** 宝たち成長お祝い事業(出産祝金)として支給するほっぴーさんカード会金券の使用店舗の拡充方法について。

**答** 宝たち成長お祝い事業(出産祝金)として支給するほっぴーさんカード会金券の使用店舗の拡充方法について。

**問** 宝たち成長お祝い事業(出産祝金)として支給するほっぴーさんカード会金券の使用店舗の拡充方法について。

**答** 宝たち成長お祝い事業(出産祝金)として支給するほっぴーさんカード会金券の使用店舗の拡充方法について。

**問** 宝たち成長お祝い事業(出産祝金)として支給するほっぴーさんカード会金券の使用店舗の拡充方法について。

**答** 宝たち成長お祝い事業(出産祝金)として支給するほっぴーさんカード会金券の使用店舗の拡充方法について。

**問** 宝たち成長お祝い事業(出産祝金)として支給するほっぴーさんカード会金券の使用店舗の拡充方法について。



(町ポイントカード会のほっぴーさんカード)

2万円支給に変更する。

**問** 若者通勤サポート事業の対象者及び対象年齢の繰上げについて。

**答** 対象者及び年齢の繰上げは来年度の実績により検討する。

**問** 介護保険の新しい総合事業について、まだ知らない町民がたくさんいる。各地区で説明会を開催するべきである。

**答** 各地区に出向くとともに各種団体の総会等に足を運び説明していきたい。

**問** 放課後児童クラブの運営について。

**答** 放課後児童クラブの運営については、聖ヨハネ会に委託している。利用者数は、押水地区では27年度は71人であったが、28年度は55人に減少した。志雄地区は、27年度は44人、28年度は32人と若干減っている。

**問** 児童クラブの運営は子育て世帯の現実にあわせながら、延長保育についても考えるべきではないか。

**答** 子育て世帯の現実にあわせながら、延長保育についても考えるべきではないか。

**問** 要保護児童への就学援助費について、新入用品は、29年度はいくらか。

**答** 要保護児童援助費補助金の新入用品の補助は、小学校で2万4700円から4万6000円、中学校は2万3500円から4万7400円という案が出ている。



(しお児童クラブ)

要保護児童への就学援助費について、新入用品は、29年度はいくらか。

**問** 小学校の統廃合にかける保護者の理解や同意をどこで、どう判断するのか。

**答** 小学校の統廃合にかける保護者の理解や同意をどこで、どう判断するのか。

**問** 学校給食業務の委託業者はどこか。また、地元産品を食育の中に活かすことについてどう考えているのか。

**答** 学校給食業務の委託業者はどこか。また、地元産品を食育の中に活かすことについてどう考えているのか。

**問** 学校給食業務の委託業者はどこか。また、地元産品を食育の中に活かすことについてどう考えているのか。

**答** 学校給食業務の委託業者はどこか。また、地元産品を食育の中に活かすことについてどう考えているのか。

**問** 施設名称の変更のみで、使用料の改正については利用者の意見を聞いて検討したい。

**答** 施設名称の変更のみで、使用料の改正については利用者の意見を聞いて検討したい。



病院運営特別委員会

(2月21日)

志雄病院の解体費の内訳は。

建築物の解体費9,500万円、設計委託費700万円、アスベスト調査費100万円、土地歴調査費180万円である。

中学校建設特別委員会

(2月10日)

建設工事の保証期限に関わらず、施工上の瑕疵については、業者が責任を持つように協議してほしい。

保証期限の延長などを業者と協議する。

既に修復済みの箇所の経過は。

今のところ、不具合は出ていない。2年目の点検時に、改めて、確認をする。

議会(常任委員会合同)

視察報告

議会は、平成29年1月11日から13日にかけて、

「大規模災害から学ぶ被災地の対応および復興の取り組み事例」について、岩手県内の被災地の復興状況を視察しました。

災害リスク管理

(普代村の防潮堤)



(津波を防いだ普代村の防潮堤)

ら、当時の経緯や現状についての説明を受け、災害リスク管理意識の重要性を改めて認識をしました。

復興への取り組み

(三陸鉄道)

三陸鉄道株式会社は、岩手県の三陸海岸を縦貫する第三セクター方式の鉄道会社です。東日本大震災に伴う津波や崩落は、三陸鉄道に甚大な被害をもたらし、各所で駅舎や路盤が流出し、車両も3両が使用不能となりました。しかし、地震発生からわずか5日後には



(復興の礎となった三陸鉄道)

久慈駅、陸中野田駅で運行を再開、被害が小さな他の区間についても間を空けずに運転再開し、被災者を勇気づけたということです。2014年4月には全線が復旧し運転再開に至ったということです。一同は、三陸鉄道に乗り、車窓から被災地周辺を視察しましたが、今なお、震災の爪痕が生々しく残る景色に、その悲惨さを改めて思い知りました。

後世への継承

(奇跡の一本松)

津波の第1波は「奇跡の一本松」がある陸前高田市にも到達し、最大17メートルの高さをもって松原の木をほぼ全てなぎ倒しました。津波は松原のみならず、陸前高田の市域に壊滅的な被害をもたらしましたが、その中で生き残った一本松は、「奇跡の一本松」と呼ば

岩手県普代村では過去の大地震・大津波で多数の被害者を出した苦い経験から、津波から住民を守る防壁設置を検討し、総工費は当時の金額で約36億円で水門を設置しました。水門建設のほかに集落の集団移転も検討されたものの土地の有効活用や生活環境の計画的整備などの観点から水門の建設が決定されました。建設の際には15・5メートルという高さは高すぎると非難を浴びました

が、当時の村長が「二度あることは三度あつてはならない」、「15メートル以上」と譲らなかつたこと。明治に15メートルの波が来たという言い伝えが、村長の頭から離れなかつたからであるということでした。深渡宏村長は「先人の津波防災にかける熱意が村民を救った。」と、防災のための公共事業の重要性を説いています。

現地では水点下の気温の中、普代村役場職員から

「奇跡の一本松」と呼ば



(復興の象徴 奇跡の一本松と復興が進む被災地)

れるようになったそうです。やがて一本松は復興や希望の象徴として保存されることになりました。現地では大震災を身を持って経験された語り部の方から、震災当時の状況、そして、現在に至るまでの陸前高田市の変遷を聞きましたが、「奇跡の一本松」という被災の象徴を残すことで、今回の大震災の事実を永続的に後世に引き継いでいくことが、今の自分たちがやらなければならないことであり、それが前述の災害リスク管理にもつながって行くことでした。

町議会 日誌 1月～3月



(町体育協会功労者、優秀選手のみなさん)

【1月】

- 5日 新年互礼会
- 7日 町消防団出初式
- 8日 成人式
- 11日～13日 町議会行政視察 (東北方面)
- 20日 町議会運営委員会 広報編集特別委員会
- 24日 郡町議会議長会 (志賀町)
- 25日 例月出納検査
- 27日 能登地区町議会連絡会 (金沢市)

【2月】

- 1日 立志式
- 2日 町議会運営委員会
- 6日 郡市広域圏事務組合議会運営委員会 (羽咋市)
- 8日 町議会全員協議会 (羽咋市)
- 10日 郡市広域圏事務組合議会運営委員会及び全員協議会 (羽咋市)
- 14日 県町村議会議長会 臨時総会(金沢市)
- 14日 町体育協会功労者及び優秀選手表彰式
- 28日 町議会第1回定例会開会

【3月】

- 1日 総務産業建設常任委員会
- 3日 町議会運営委員会
- 7日 町議会定例会再開 (石川第八発電所開通式(免田地内))
- 20日 町議会運営委員会 (沢市)
- 21日 病院運営特別委員会
- 22日 郡市広域圏事務組合議会定例会(羽咋市)
- 23日 石川北部RDF広域処理組合議会定例会(志賀町)
- 24日 郡市広域圏事務組合議会運営委員会及び定例会(羽咋市)
- 27日 教育厚生常任委員会
- 28日 例月出納検査



(太陽光発電が始まった石川第八発電所)

～議会一口メモ～

議会の権限 (その2)

議会には、議決機関としての権限のほか、選挙機関としての権限があります。

○選挙権

議会における選挙とは、議会が特定の地位に就くべき人を選定する行為です。その議会が持つ選挙権は、法律等に規定されており、現在、議会が行うべき選挙は、次のとおりです。

- ・議長及び副議長の選挙
- ・選挙管理委員及び補充員の選挙

また、一部事務組合を設けた市町村で、その規約に「組合議会の議員は、組合市町村の議会において、議会の議員の中から選挙する」と規定されている場合は、議会において選挙することになります。本町議会の議員が選挙により議員となっている主な一部事務組合等は、次のとおりです。

- ・羽咋郡市広域圏事務組合議会
- ・石川後期高齢者医療広域連合議会
- ・子浦川水防事務組合議会

- 28日 社会福祉法人渚会 理事会(ちどり園)
- 28日 県町村議会議長会 協議会(金沢市)
- 28日 県市町議会議員公務災害補償等組合議会定例会(金沢市)
- 28日 県後期高齢者医療 広域連合議会定例会(金沢市)

- 広報編集特別委員会**
- 委員長 小島 昌治
  - 副委員長 守田 幸則
  - 委員 金田 之治
  - 委員 久保 喜六

議会を傍聴しませんか

平成29年第2回町議会定例会が6月8日に開会されます。町民の皆さんの議会傍聴をお待ちしております。

問い合わせ 議会事務局 TEL 29-8310



この印刷物は、ESPAのゴールドプラス基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています。ESPA：環境保護印刷推進協議会

この広報は高精細340線で印刷したものです。